

被災地の子どもたちの運動不足改善に 関する施策

～学校へのエア遊具の設置～



桜美林大学C



荒田夏鈴、大平真央、中村隼、細野浩太、
村元優成、森涼子

概要

1. はじめに
2. 研究の目的
3. 調査方法
4. 結果・分析
5. 施策・政策提言

1. はじめに(仮設住宅)

- 東日本大震災によって、家を失った人々は仮設住宅での暮らしを強いられている。その仮設住宅は学校の校庭、公園に建てられていることが多いため、子どもたちが運動をする場所が減ってしまった。
 - 東日本大震災:被災地の校庭、仮設撤去進まず わずかな隙間でリレー練習／「サッカーしたいけど無理」我慢する子供たち - 毎日新聞 2014年09月10日 東京朝刊
 - 東日本大震災:校庭の仮設、撤去0.6% 子どもの体力低下-- 岩手・宮城 - 毎日新聞 2014年09月10日 東京朝刊

1. はじめに(問題行動)

- 岩手、宮城、福島3県で東日本大震災当時に保育園児だった子どもは、暴力や引きこもりなどの問題行動があり、精神的問題に関する医療的なケアが必要な子が4人に1人に達するとされている(毎日新聞 2014年1月27日)

1. はじめに(体力低下)

- 沿岸部を中心とした体力・運動能力調査を行ったところ、「A」～「E」の5段階で評価し、「D」「E」と低く判定された児童の割合が、震災前(10年)は21%(3,114人中652人)だったのが、13年は26%(3,273人中852人)に増えた。
 - 毎日新聞2014年9月9日 「校庭の仮設:撤去0.6% 子どもの体力低下 岩手・宮城」

1. はじめに(肥満)

● 被災地三県で「肥満」の子どもが増加

体格と肥満度に関する都道府県別の状況(公立学校)男子							
	児童数	身長(cm)	体重(kg)	座高(cm)	肥満	正常	痩身
全国集計	550004	138.85	34	74.82	10%	87.50%	2.50%
岩手県	5683	139.46	35.52	75.3	14.60%	83.60%	1.80%
宮城県	10322	139.39	35.25	75.07	13.60%	84%	2.40%
福島県	8538	139.13	35.66	75.02	17.40%	80.80%	1.90%
体格と肥満度に関する都道府県別の状況(公立学校)女子							
	児童数	身長(cm)	体重(kg)	座高(cm)	肥満	正常	痩身
全国集計	526069	140.05	33.92	75.74	7.80%	89.60%	2.60%
岩手県	5520	140.76	35.43	76.26	11.00%	87.10%	1.90%
宮城県	9794	140.54	34.9	76.03	10.70%	86.60%	2.60%
福島県	8214	140.53	35.23	76.05	12.20%	85.80%	2.00%

文部科学省体格と肥満度に関する調査の結果

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/sports/detail/_icsFiles/afieldfile/2013/12/20/1342603_3.pdf

2. 研究の目的

「被災地の子どもたちの運動不足と肥満や問題行動といった心身の課題を解決するための施策の検討と提案」

3. 調査方法

(1) インタビュー調査

- 被災地の子どもに詳しい有識者、支援者などに話を聞いた

• インタビュー対象

- 新雅史氏(社会学者)
 - 「大震災後の社会学」共著者
- (財)日本サッカー協会「夢の教室」元スタッフのI氏
- 被災地支援をしている「NPO法人かながわ3.11ネットワーク」代表者I氏
- 被災地の特に子どもの支援活動を行っているまちづくりコンサルタントT氏

3-1. インタビュー調査のまとめ

1. 仮設住宅は音が漏れやすく、子どもたちは声を上げて遊ぶことができない。
2. 子どもが家にいることが多くなるので親の負担感が大きくなっている
3. スポーツ選手などが被災地を訪れて行うイベントは非日常的なものであり、日常的な運動不足の解消にはなっていない
4. 学校から離れた仮設住宅からスクールバスで通っているため、子どもたちの活動時間がスクールバスの時刻表によって制限されている。友だちともバラバラになってしまい、一緒に遊ぶ時間がなくなっている。
5. 運動不足や肥満など身体的な問題だけでなく、ストレスなど心理的な問題も大きい
 - 問題行動の増加
 - ゲームのバーチャルな世界に没頭
 - 夢や希望を持ちづらい

(2) 現地調査・フィールドワーク

1. 岩手県陸前高田市

2. 福島県いわき市

3. 福島県南相馬市

「高原夏のアトリエ2013」

現地の様子



かさ上げ工事のための
ベルトコンベア
(陸前高田市)



がれきの山
(いわき市)



放置されている広場
(いわき市)

被災した福島の子どもたちを対象に 2013年8月4日から8日にかけて 「高原夏のアトリエ2013」を開催



自発的に遊ぶ子どもたち



子どもたちの生き生きとした様子

(2) 現地調査・参与観察まとめ

1. 津波に流されたところは空地はあるが整備されておらず、子どもだけで安心して遊ばせる場所とはいえない。また仮設住宅からも離れており、子供の足だけで通える場所ではない。

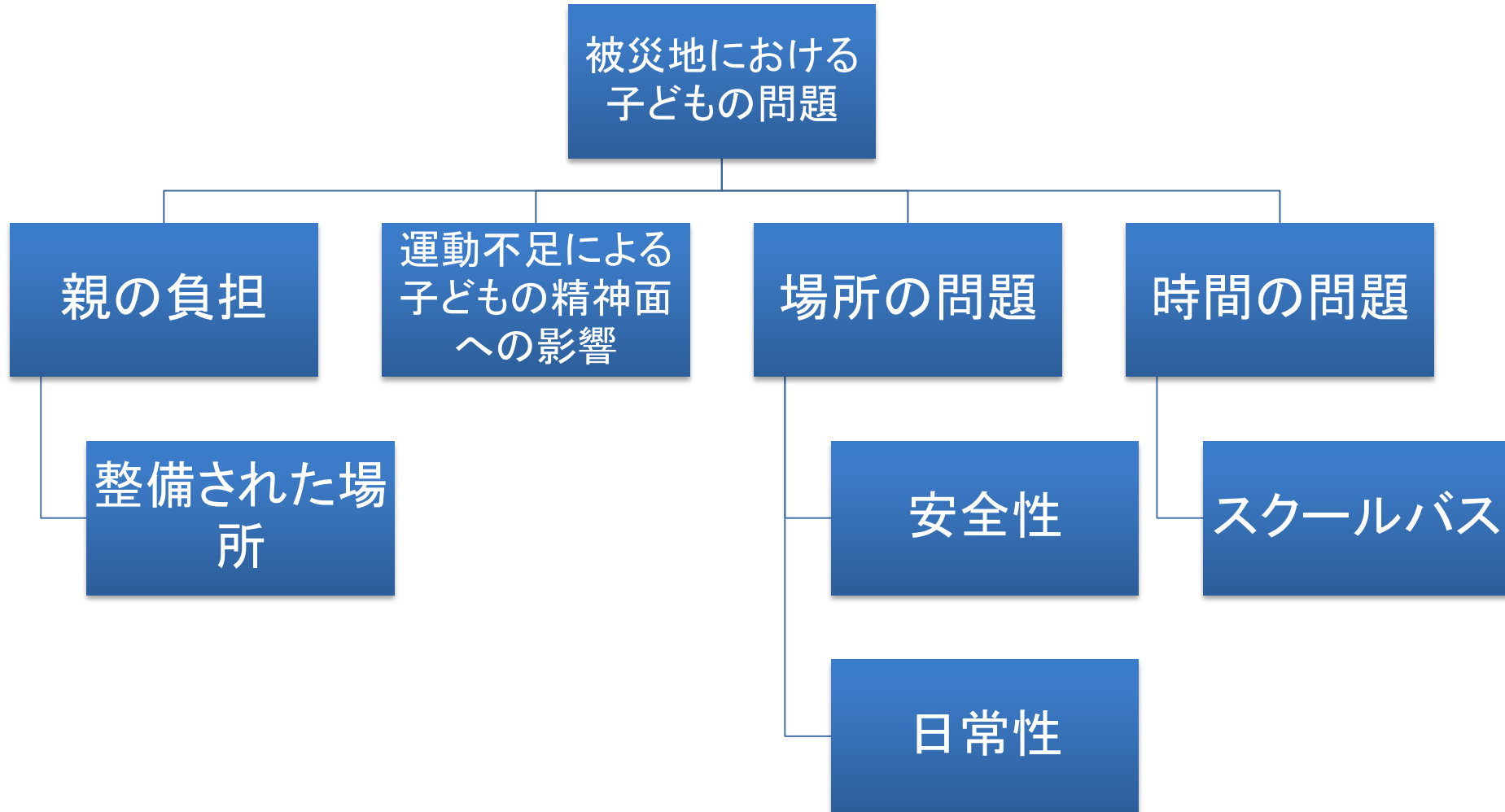
→日常的に親が安心して遊ばせられる場所ではない

2. 子どもたちの様子

身体が動かせないことによる子どもの精神面への影響が問題と思われた



4. 結果・分析



5. 施策・政策提言

- 特に小学生以下の子どもの遊び場と心身共に充実した活動量の確保を目的とし、学校の校庭にエア遊具を設置して放課後子どもたちが自由に遊べるようにする。
- エア遊具はスペースをとらず、安全に利用できるほか普段あじわうことが出来ない身体活動が行えるため運動効果が期待できる。

「学校の校庭等への「エア遊具」の設置」



メリット

- 固い構造物でないので安全
- 建築確認等の申請不要
- 運動効果があり日常使わないような筋肉や神経を使える
- 遊具のサイズにもよるがコストは1週間レンタルで10万円程度
- 設置場所によって変わるが3～5年程度もつ
- 被災地での設置は電源の確保できる場所があれば可能

(JIPSA 日本エア遊具安全普及協会)

エア遊具 Wikipedia contributors. "エア遊具." Wikipedia. Wikipedia, 6 Aug. 2014. Web. 17 Oct. 2014.

写真:ドームタイプのエア遊具

「学校の校庭等への「エア遊具」の設置」

1. 設置コストは？
 - － 競技団体と交渉し、競技団体の競技普及、社会貢献活動としての寄付や運用案を提案
2. 運用コストは？
 - － 取り扱いは簡単な講習を受ければ誰でもできるので運用コストは安い。
 - － ボランティアを活用。被災地支援に多くのボランティア団体が参加しており、そうした団体と連携するなど



社会人アメリカンフットボールXリーグの試合会場に設置されていたエア遊具

参考文献・資料

- 毎日新聞2014年9月9日 「校庭の仮設：撤去0.6% 子どもの体力低下 岩手・宮城」
- 毎日新聞2014年1月27日「東日本大震災：引きこもりや暴力・・・被災園児25%問題行動」
- エア遊具 Wikipedia contributors. "エア遊具." *Wikipedia*. Wikipedia, 6 Aug. 2014. Web. 17 Oct. 2014.
- 文部科学省体格と肥満度に関する調査の結果
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/sports/detail/__icsFiles/afieldfile/2013/12/20/1342603_3.pdf

ご清聴ありがとうございました！